

対象国教育分野における開発ニーズ(課題)

- ・産業人材として必要な数学リテラシーの欠如
- ・各学年の発達段階を考慮した体系的な教材, 良質な教材の不足
- ・「数感覚」を基にした教材や指導方法の欠如
- ・生徒の数学的能力の不足と教育格差

提案製品・技術

- ・eラーニング対応の学習教材
- ・日本式算数に基づく体系立った教材
- ・紙とデジタルのハイブリッド教材
- ・ICTを活用した解説動画と採点システム
- ・情報環境があれば学校でも家でも使える

本事業の内容

- ・契約期間: 2023年6月～2024年7月
- ・対象国・地域: 南アフリカ共和国ハウテン州
- ・カウンターパート候補機関: 南アフリカ共和国ハウテン州教育省(連邦基礎教育省)
- ・案件概要: 学習時間不足、良質な教材不足などの要因により基礎的な計算力が不足しているという対象国の課題に対して、提案製品が生徒の基礎算数力の向上につながり、将来のビジネス化が可能であるかを調査する。
本調査においては、7年生を対象として検証・調査を行う。



開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

- ・提案製品を教育環境に応じて現地化
- ・小学校高学年の教材から展開
- ・現地パートナー企業とのアライアンス契約を締結
- ・まず私立校, さらに州教育省から公立校をターゲットとしてビジネス展開し、教材・サービス購入に向けた販売展開を行う

対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

- ・発達段階を考慮した体系的な教材, 良質な教材の効果が検証され、認知される。
- ・「数感覚」をもとにした教材や指導方法が認識され、効果が確認される。
- ・生徒の数学的能力が向上し、だれでも理解できる学習により、格差是正に貢献する。
- ・数学的リテラシーを身に着けた産業人材が育成される。